

大内氏歴代の
文書が集結!



大内義興像／当館蔵

多々良の麻佐古

手鑑「多々良の麻佐古」 てかがみ・たたらのみさご

手鑑とは、古人の書状や和歌などの書跡を集めて、鑑賞用に仕立てたもの。

本帖は、大内弘世(14世紀中頃)から大内義長(16世紀中頃)に至る、大内氏歴代の文書24点、善福寺(現在の山口市道場門前にあった時宗寺院)文書16点(前記の大内氏歴代文書のうち8点を含む)、家臣の発給文書、大内持世・大内政弘等の和歌、大内氏勘合貿易印の印影など計55点が収められている。

収載文書のうち、確認できる年代で最も古いものが正平12年(1357年)7月13日付け、新しいものは永禄10年(1567年)11月16日付けである。

標題の「多々良」は大内氏の本姓であり、大内氏ゆかりの書跡を真砂(まさご、細かい砂)に例えたものであろう。

編者は、元長州藩士で、明治期に宮内省(現宮内庁)の要職を歴任した、杉孫七郎(1835~1920)である。この杉家は、大内氏の譜代家臣である杉氏の惣領家にあたり、豊前の守護代を世襲した。本帖は、孫七郎が、かつての主家である大内氏の書跡を蒐集し、手鑑に仕立てたものである。

手鑑として、能書家としても知られる杉孫七郎の優れた蒐集眼に適った秀逸な作品に仕上がっている。大内弘世から義長に至る大内氏歴代当主の文書が並ぶことに加え、書下・安堵状・下文・連署状など様々な書式の文書が含まれ、中世武家文書の様式を通覧できる点が特色である。また、これまで史料集等に未掲載の古文書を多く含むなど、大内氏及び山口県の中世史研究においても貴重な資料である。

「多々良の麻佐古」は、令和元年11月12日開催の「山口県文化財保護審議会」において新指定の有形文化財として答申された。

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 1 種別 | 有形文化財（書跡） |
| 2 名称 | 手鑑「多々良の麻佐古」 |
| 3 員数 | 1帖 |
| 4 品質、形状、寸法 | 法帖仕立、縦49.4cm・横55.6cm・厚さ6.7cm、木箱入 |
| 5 制作の時代又は年代 | 明治27年（1894年）8月 |
| 6 所在の場所 | 山口市春日町8番2号 山口県立山口博物館 |
| 7 所有者 | 山口県（山口市滝町1番1号） |

8 概要

冒頭より、大内弘世から義長までの発給文書や和歌が15点、歴代順に並べられている。中ほどは、家臣の発給文書や和歌、毛利家所蔵の印章の印影が年代と関わりなく配置される。最後に、中世・山口町にあった善福寺文書16点（大内氏歴代発給文書8点を含む）が配されている。大内氏歴代の花押が並ぶことに加え、書下・安堵状・下文・連署状など書式も多様で、中世武家文書の様式を通覧できる。

標題の「多々良」は大内氏の本姓であり、大内氏ゆかりの書跡を真砂（まさご、細かい砂）に例えたものであろう。

編者の杉孫七郎（1835～1920）は、長州藩士植木五郎右衛門の二男として山口に生まれ、のち杉家を継いだ。維新後、明治政府に出仕し、宮内庁関係の要職を歴任した。この杉家（伯耆守家）は、大内氏の譜代家臣である杉氏の惣領家にあたり、豊前守護代を世襲した。

本帖は、能書家としても知られる杉孫七郎が、杉氏の主家である大内氏ゆかりの古文書を蒐集し、手鑑としてまとめたもので、孫七郎の優れた蒐集眼に適った秀逸な作品に仕上がっている。また、内容的にも既存の史料集に未掲載のものを多く含むなど、防長の中世史研究において貴重な資料である。

なお、本帖を以て、山口県指定有形文化財の手鑑は3件となる（「手鑑」・山口市蔵、手鑑「筆陳」・下関市蔵）

多々良の麻佐古

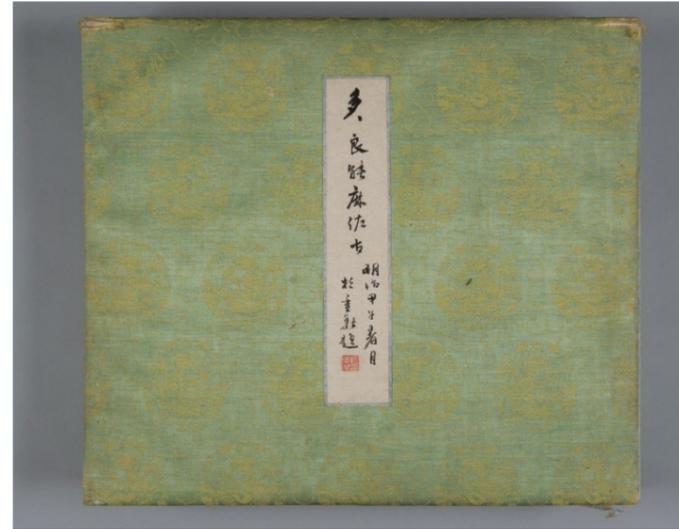
明治甲子春日
杉孫七郎
題





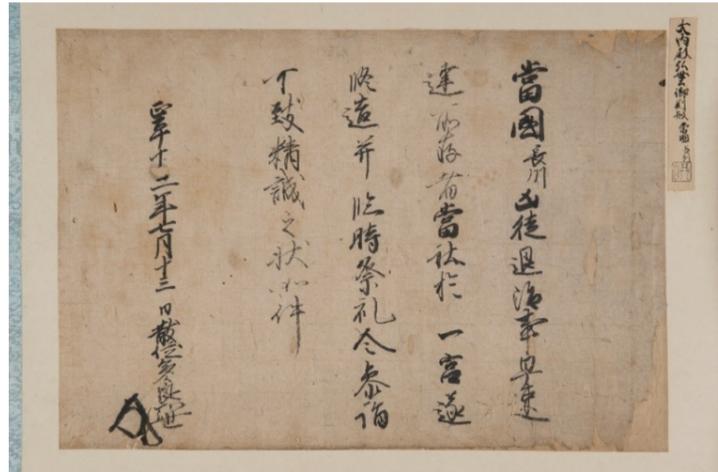
多々良の麻佐古 納箱

(箱書) 大内家古文書／多々良の麻佐古／杉家珍藏



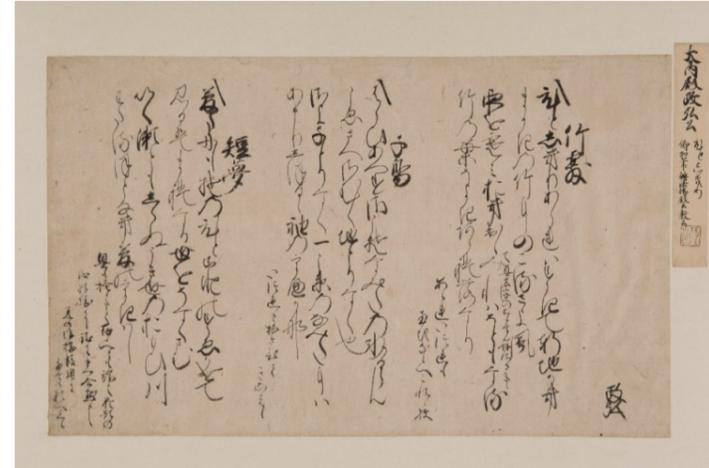
多々良の麻佐古 表紙

(外題箋) 多々良の麻佐古／明治甲午 暑月／杉重華題 (朱印)



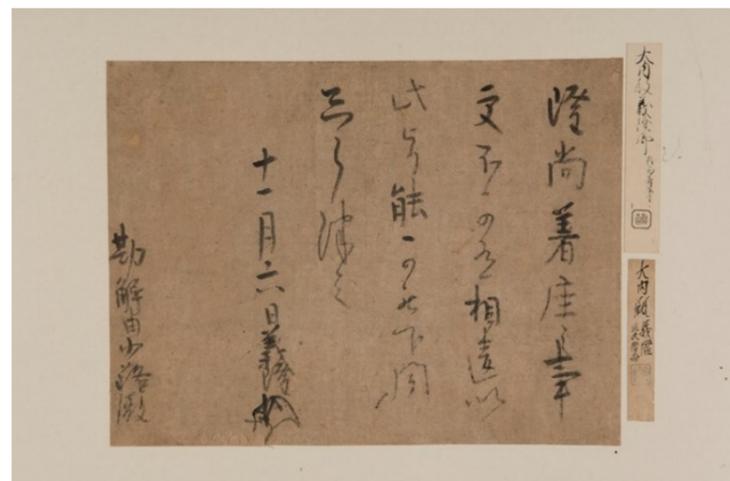
大内弘世書下

正平十二年七月十三日
散位多々良弘世 (花押)



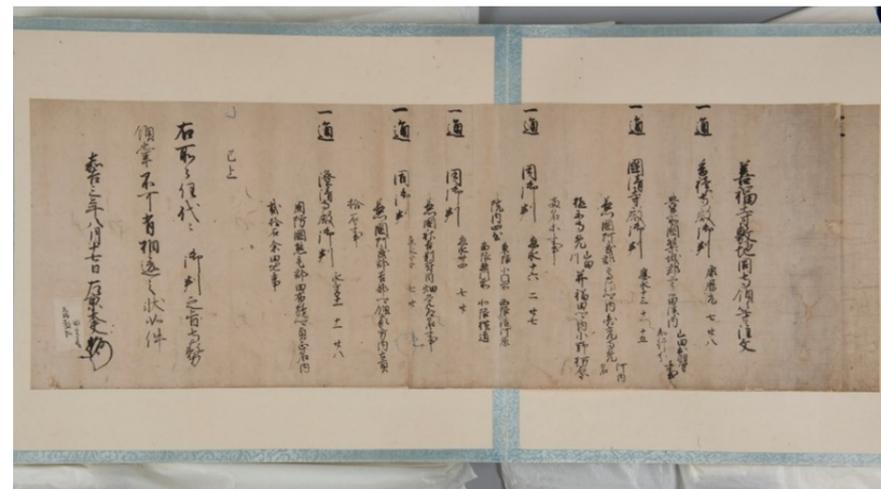
大内政弘和歌三首

竹霞 千鳥 短夢



大内義隆自筆書状

十一月六日 義隆 (花押)



善福寺敷地同寺領地等注文

嘉吉三年八月十七日
左京大夫 (花押)

花押横に「關雲寺殿 大内教弘」の貼紙

手鑑「多々良の麻佐古」目録

番号	名称	宛所	年代	西暦	頁数	法量	備考
1	大内弘世書下		正平12年7月13日	1357年	1	30.4×44.8	宛所は長門一宮大宮司か
2	大内義弘安堵状	極楽寺	応永6年9月26日	1399年	1	32.1×46.4	
3	大内満弘安堵状	和田士貞	永徳元年11月3日	1381年	1	30.6×37.0	長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与
4	大内盛見書下	当寺住持	応永24年7月16日	1417年	1	33.7×47.4	
5	大内持世書状	一宮大宮司	12月13日		1	27.0×43.7	
6	大内持世奉納和歌三首				3	32.0×44.4	長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与
7	大内教弘安堵状	禅吉蔵主	享徳2年2月25日	1453年	1	34.2×48.0	
8	大内政弘和歌三首				3	27.5×44.4	長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与
9	大内義興袖判下文	金子弥十郎家親	明応4年4月29日	1495年	1	31.2×44.5	
10	大内義興書状	益田治部少輔	(永正4年)5月13日	1507年	1	28.7×38.7	
11	大内義隆袖判安堵状		天文19年11月21日	1550年	1	31.0×42.6	状末尾の印、蔵書印か
12	大内義隆書状	杉豊後守	(天文元年)12月4日	1532年	1	27.0×47.1	
13	大内義隆自筆書状	環翠軒	黄鐘27日		1	27.0×39.4	長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与
14	大内義隆自筆書状	勘解由少路	(天文元年)11月6日	1532年	1	27.1×35.2	極札2枚貼付、自筆書状で花押がこの形のもの唯一
15	大内義長感状	英梅軒	弘治2年6月26日	1556年	1	18.2×48.9	
16	大内氏奉行人連署書状	棚守左近大夫	(天文10年)3月15日	1541年	1	28.5×48.2	
17	大内氏奉行人連署奉書	光教寺	享禄4年12月11日	1531年	1	28.7×42.8	
18	大内義弘安堵状		明德3年6月3日	1392年	1	31.5×42.4	
19	毛利輝元安堵状	当住玄授	永禄10年11月16日	1567年	1	28.8×45.7	
20	榎本元吉書状	棚守左近将監	卯月4日		1	31.9×50.0	
21	杉重信(重矩)書状	金子平五郎	(天文3年)11月3日	1534年	1	16.3×36.0	21・22は同一紙に貼付、長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与
22	杉弘相書状	天野堀式部大輔	(明応9年)2月6日	1500年	1	16.3×48.1	21・22は同一紙に貼付、長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与
23	内藤道行(道円)書状	潮音院	(享徳2年)5月11日	1453年	1	(第一紙)29.2×41.3、(第二紙)29.1×45.1	長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与
24	大内晴英(義長)和歌				1	33.1×5.5	24～28は同一紙に貼付
25	善弘和歌				1	34.3×5.4	24～28は同一紙に貼付
26	隆慶和歌				1	34.0×5.0	24～28は同一紙に貼付
27	仁保隆慰和歌				1	33.0×5.0	24～28は同一紙に貼付
28	杉興道和歌				1	33.6×5.3	24～28は同一紙に貼付
29	大内氏奉行人連署奉書	来原十郎右衛門尉	応永24年8月15日	1417年	1	30.4×49.3	
30	大内義興書状	一宮大宮司	正月5日		1	26.8×40.5	
31	興隆寺本堂供養日記写		応永11年2月19日	1404年	1	(第一紙)18.2×40.1(第二紙)18.1×46.8(第三紙)18.2×26.3	

32	印影（日本国王之印）			1	18.1×16.8	
33	印影（通信符）			1	18.1×16.7	
34	印影（左京兆垂中大夫多多良義長）			1	18.1×16.7	
35	印影（大宰大貳印）			1	18.1×16.7	
36	印影（多々良朝臣印）			1	18.1×16.7	
37	善福寺掟書		永享11年2月24日	1439年	1	31.5×26.4
38	善福寺敷地同寺領等注文		嘉吉3年8月17日	1443年	1	31.7×87.8
39	善福寺敷地同寺領御判目録		文正元年6月23日	1466年	1	31.6×100.8
40	善福寺規式		文正元年6月23日	1466年	1	31.6×56.3
41	大内政弘寄進状	善福寺	文明18年3月23日	1486年	1	31.3×32.8
42	大内持世書状	安富入道	8月10日		1	31.5×47.0
43	善福寺敷地并寺領等御判目録		明応5年4月15日	1496年	1	(第一紙)32.4×48.0(第二紙)32.3×95.0 第二紙最後部に花押あり、44の裏側の花押に続く
44	大内義興寄進状	善福寺	明応5年4月15日	1496年	1	32.3×47.1
45	大内義興安堵状	善福寺	明応5年4月15日	1496年	1	32.5×47.5
46	大内義興安堵状	防州善福寺	明応5年4月15日	1496年	1	32.5×46.7
47	大内義隆安堵状	防州善福寺	享祿3年12月24日	1530年	1	32.6×45.0
48	大内義長安堵状	防州善福寺	天文21年10月29日	1552年	1	32.5×47.3
49	大内義長安堵状	防州善福寺	天文21年10月29日	1552年	1	32.5×56.0
50	善福寺末寺注文		永享11年3月日	1439年	1	(第一紙)32.0×48.0(第二紙)32.0×66.0
51	善福寺末寺注文		嘉吉3年8月17日	1443年	1	(第一紙)32.0×48.5(第二紙)32.0×47.0
52	善福寺末寺注文		文正元年6月25日	1466年	1	(第一紙)32.0×47.7(第二紙)31.8×50.3(第三紙)32.3×46.6
53	大内義興書状写	麻生兵部大輔	11月13日		1	26.3×40.8
54	冷泉隆豊和歌				1	34.0×5.2 54・55は同一紙に貼付
55	冷泉隆豊和歌				1	33.9×5.4 54・55は同一紙に貼付

長府毛利家「筆陳」から杉孫七郎に譲与の7点については、「毛利家什物書画目録」によると、「明治廿六年二月九日思召ヲ以テ杉孫七郎へ譲与セラル」と注記されている。